

総会（令和5年度）

# 医療・防災産業創生協議会 令和4年度活動報告

1. 超党派議員連盟及び斉藤国交相への要望書提出	1
2. 協議会パンフレットの作成・公開	2
3. 道の駅「猪苗代」における実装デモ	3
4. 地域防災力強化プロジェクト	22

2023年6月26日

医療・防災産業創生協議会 事務局



一般財団法人 日本総合研究所

# 1. 超党派議員連盟及び齊藤国交相への要望書提出

○弊協議会の活動のマグニチュードを高めていくため、超党派から成る「医療・防災産業創生推進議員連盟」及び齊藤鉄夫国土交通大臣に対して「国土レジリエンスの強化と次世代産業の創生に係る要望書」を提出。

令和4年12月5日

国土交通大臣  
齊藤 鉄夫 殿

医療・防災産業創生推進議員連盟  
会長 齋藤 健

国土レジリエンスの強化と次世代産業の創生に係る要望書

我が国及び国際社会では、東日本大震災、コロナ禍、ウクライナ紛争などの危機が相次いでおり、人々の安全・安心な生活を支える国土形成・社会構築の重要性がこれまで以上に高まっています。他方、経済面では、従来日本経済を牽引してきた基幹産業のメルトダウン（競争力低下）が生じており、次世代産業の創生・発展が急務となっています。

このような問題意識から、民間では、人々の安全・安心を守る取組として医療と防災を一体的に捉え、新たな産業領域としての「医療・防災産業」の創生に向けた活動が行われており、本議員連盟はそのような活動を支援するべく設立されました。当該活動のマグニチュードをより高めていくためには、官民が一丸となって取り組んでいくことが重要であることから、国土レジリエンスの強化と次世代産業の創生に向けて、下記の事項を要望いたします。

記

1. 令和5年度内を目途に次世代産業としての医療・防災産業の創生・発展に係る基本方針を策定すること。
2. 当該基本方針の実現及び国土レジリエンスの強化に向け、経済性・機動性・技術性に優れた高機能コンテナ等を活用して、全国各地に医療・防災の拠点を効率的に整備するとともに、全体最適に向けたネットワーク化を推進すること。また、そのための全体構想を取りまとめること。その際、スーパーシティ構想やデジタル田園都市構想との整合性に留意すること。

1

3. 拠点整備に当たっては、中核的な医療・防災拠点として5か所程度を先行的に整備し、段階的に拠点数を拡充していくこと。なお、先行整備を行う箇所は、災害の被害想定及び発生確率、地方公共団体の取組姿勢、地域間のバランス等を考慮のうえ選定すること。本議員連盟としては、本構想推進の意志を共有している、青森県、群馬県、埼玉県、和歌山県、沖縄県、川崎市などと連携し、先行的に取組を進めることを提案する（別紙参照）。
4. 拠点のあり方については、災害時（官需）利用だけでなく、平常時（民需）利用も意識したものとすること。また、拠点の整備及び運営に当たっては、民間活力を活用すること。
5. 新市場開発に向けて、コンテナ及び搭載資機材などの高機能化（先端技術活用）を推し進めるため、競争的研究費制度をより一層拡充させること。
6. 市場拡大に向けて、海外輸出の促進や国際緊急援助等での活用を行うため、パッケージ化・システム化（ISO等規格化）を推進すること。
7. 医療・防災産業の創生・発展に資する法制上、財政上、税制上又は金融上の措置その他の措置を講ずること。

以上

2



# 2. 協議会パンフレットの作成・公開

○弊協議会の活動趣旨・実績を対外的にアピールするため、2023年3月にパンフレットを作成・公開。

(参考)パンフレットURL [https://www.mdpc.ne.jp/mdpc\\_pamphlet230324/](https://www.mdpc.ne.jp/mdpc_pamphlet230324/)

日本は今、  
新たな産業基盤を創生すべき時

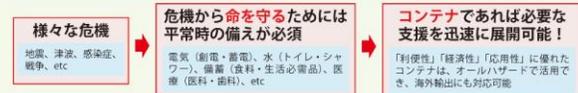
国土のレジリエンス強化と  
次世代産業の創生のため  
医療・防災産業を  
日本の基幹産業へ

**命のコンテナ**  
(技術の集結)  
プロジェクト

2023年3月  
医療・防災産業創生協議会  
Medical & Disaster Prevention Council

## 実装フェーズ (高機能・高付加価値コンテナの積極活用)

Q、なぜコンテナがコア製品なのか？ (コンテナの有用性)



【高機能コンテナの種類 (機動性×用途・機能) より高機動】

移動方法	タイプ		
	搭載型 (鉄道・海上コンテナ)	自立搭載型 (脚付き)	牽引型 (トレーラーハウス)
移動方法	フォークリフトもしくはクレーンでトラックに搭載して移動	一体化したジャッキの昇降によりトラックに搭載して移動 (クレーン等不要)	トレーラーヘッドによる牽引で移動
サイズ	20ft: 国際規格→海上輸送 (国際緊急援助) 向き 12ft: 国内規格→陸上輸送 (国内災害対応) 向き		
機能用途例	①創電・蓄電 ②備蓄 ③ゴミ処理 ④美容	③キッチン ④バスターミナル ⑤宿泊	⑥シャワー ⑦トイレ ⑧医療 (眼科・歯科) ⑨水生成・処理

### 平常時：地域活性化

- 地元生産者・事業者の活動の拠点
- 観光客へのアピール (リピーター獲得→海遊観光へ)

地域経済の活性化 (誘客・消費増→雇用増・所得増・税収増)

### 高機能コンテナがブランド価値を高める

地域の需要に応じて必要な機能を柔軟に提供



## 実装フェーズ (高機能・高付加価値コンテナの積極活用)

Q、高機能・高付加価値コンテナの特徴・利点は？



### 災害時：住民の命を守る

- 地域防災機能：避難所の強化、被災地へのコンテナ派遣
- 広域防災機能：スペース確保+部隊支援/避難所転換

レジリエンスの強化 (安全・安心で住みよい町)

### 災害時も活躍！命を守る高機能コンテナ

必要とされる場所へ必要なコンテナを移動し救済



### 3. 道の駅「猪苗代」における実装デモ：実施経緯

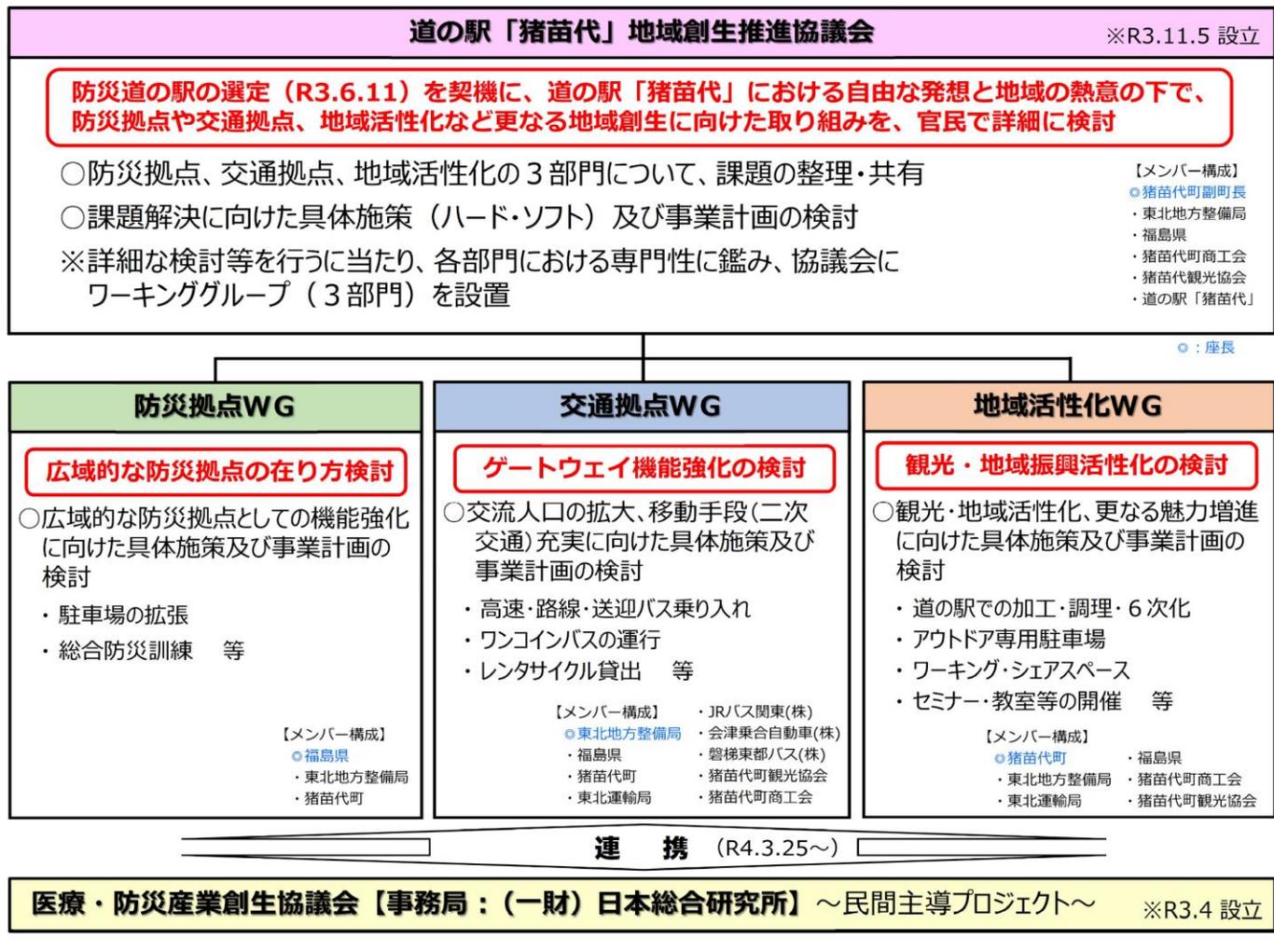
#### ●実装デモ実施に至る経緯

- ・ 2022.06.23 第1回 検討・意見交換会（町・弊協議会）
- ・ 2022.07.06 道の駅「猪苗代」地域創生推進協議会※ 第1回 防災拠点WG
- ・ 2022.07.27 第2回 検討・意見交換会（町・弊協議会）
- ・ 2022.09.01 第3回 検討・意見交換会（町・弊協議会）
- ・ 2022.11.01 耶麻歯科医師会佐藤会長との意見交換
- ・ 2023.02.07 第4回 検討・意見交換会（町・県・国交省・弊協議会）
- ・ 2023.02.09 猪苗代町保健福祉課との意見交換（町・佐藤会長・弊協議会）
- ・ 2023.02.28 道の駅「猪苗代」地域創生推進協議会 第2回 防災拠点WG
- ・ 2023.03.29 第3回 道の駅「猪苗代」地域創生推進協議会

※猪苗代町、福島県、国土交通省東北地方整備局、猪苗代町商工会、猪苗代観光協会、道の駅「猪苗代」から成る協議会であり、弊協議会もオブザーバーとして参加（詳細は次頁参照）。

# (参考) 道の駅「猪苗代」地域創生推進協議会

## 道の駅「猪苗代」地域創生推進協議会の設立



(出典)国土交通省東北地方整備局郡山国道事務所 <https://www.thr.mlit.go.jp/koriyama/top/michinoeki/inawashiro.html>

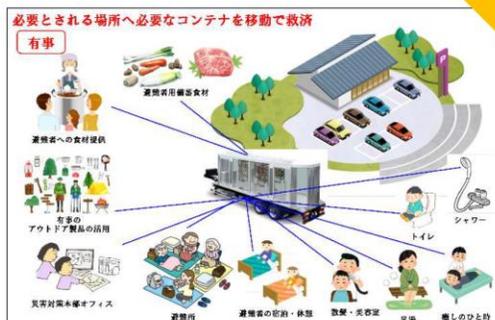
# (参考) 道の駅における可動式コンテナの設置について

## 道の駅における可動式コンテナの設置について

- 道の駅「猪苗代」における可動式コンテナの設置について、令和5年の試行設置を目指し、民間団体が猪苗代町とともに検討中。
- 猪苗代町が設置した「道の駅『猪苗代』地域創生推進協議会」に、東北地方整備局が参画。
- 道の駅「猪苗代」における取組に、国としても必要な協力を実施し、その知見を全国に展開。

※令和5年度 直轄事業費(15,953億円)の内数

### ■道の駅における可動式コンテナの活用(イメージ)



出典: 医療・防災産業創生協議会

### ■防災道の駅「猪苗代」の防災機能強化

(設置者: 猪苗代町、道路管理者: 福島県)



### (参考) 道の駅「猪苗代」地域創生推進協議会(R3.11設置)

- 会長 猪苗代町(副町長)  
福島県
- 委員 国土交通省東北地方整備局  
国土交通省郡山国道事務所  
猪苗代町商工会  
猪苗代町観光協会  
道の駅「猪苗代」
- オブザーバー  
医療・防災産業創生協議会

防災道の駅の選定を契機に、防災拠点や交通拠点、地域活性化など更なる地域創生に向けた以下の取り組みを官民で検討

- ・広域的な防災拠点としての機能強化
- ・交流人口の拡大、移動手段の充実
- ・観光・地域活性化、更なる魅力増進



(出典) 国土交通省 <https://www.mlit.go.jp/road/Michi-no-Eki/pdf/budget230123.pdf>

# 3. 道の駅「猪苗代」における実装デモ：実施概要

## ●実装デモ実施概要

- (1) 日時：2023年6月2日（金）～4日（日）
- (2) 後援：猪苗代町
- (3) 内容：①ブリーフィング（案内方式のみ）  
 ②屋外デモ  
 ③室内デモ（案内方式のみ）  
 ④一般利用者アンケート（100名）

※案内方式のプログラムは、6月2日（金）、6月3日（土）の午前（10:00～）・午後（13:00～）、6月4日（日）の午後（13:00～）に実施。

### (4) 参加者：合計87名

- ・6月2日（金）行政機関等関係者：52名
- ・6月3日（土）民間事業者等関係者：22名
- ・6月4日（日）議連等関係者：13名

### <案内チラシ>

ちたしたさで創る、あたらしい「防災」のかたさ in 道の駅「猪苗代」

2023 6/2 金 3 土 4 日  
10:00～17:00 雨天決行

コンテナの移動実演時間(予定) 11時 14時 16時

主催：医療・防災産業創生協議会  
後援：猪苗代町

**3つの可動式コンテナがやってくる!**  
民間企業の知恵と技術を結集し、平常時は地域の振興・活性化に役立つとともに、災害時は避難所生活のレベルアップに活用される可動式コンテナの展示を行います。

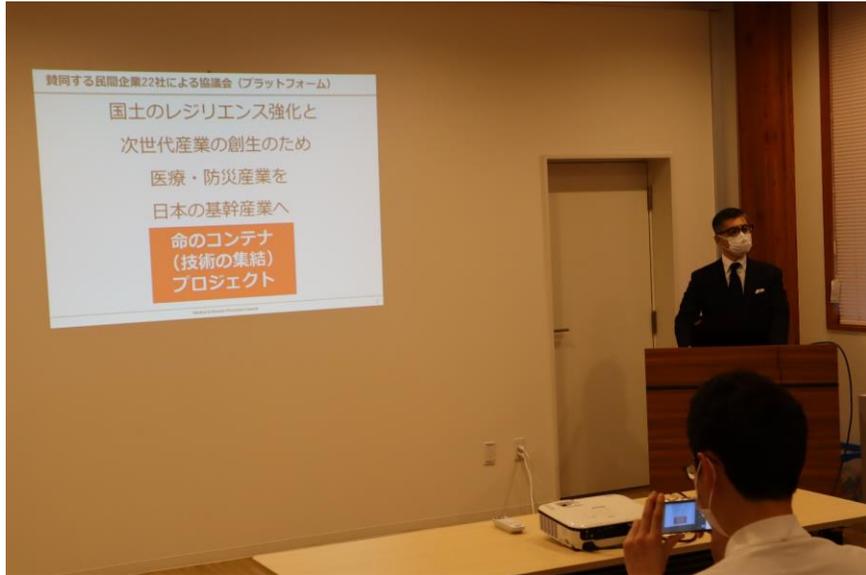
クールコンテナ	ジャッキ付き多目的コンテナ	トレーラーハウス	
冷凍・冷蔵機器、避難所でお店の味が楽しめる、新しい備前のあり方へ!	平常時は移動式店舗として営業し、災害時には電源やプライバシーに配慮した施設へと変身!	平常時は宿泊施設として使い、そのまま災害時に避難所等として活用!	
コンテナ移動	ダンボールベッド	トレーラーハウス内観	マッスルスーツ

※雨天決行・移動実演等の中止又は内容変更の場合もあります。 ※コンテナの移動実演時間は状況により前後する可能性があります。

# 3. ① - ブリーフィング

## ● 全体説明 (高機能・高付加価値コンテナのコンセプト等)

担当 事務局



# 3. ① - ブリーフィング

## ● BCP物流等

担当 丸和運輸機関



### 丸和運輸機関のBCP物流

AZ-COM

災害時に物流事業を通じて、社会貢献に挑戦します

**非常時において  
安全・安心・安定した  
物流を提供**

災害時には、スーパーやコンビニでは1日で品切れ、避難所では“必要なモノが必要な時に必要な場所”に十分に届いていない現状を見て、北海道胆振東部地震を皮切りに2019年本格稼働となりました。

### 災害時の全国物流支援網の構築による、 BCP物流(事業化型の社会貢献)を提案



当社グループは、「**事業化型の社会貢献**」をキーワードとして、BCPを事業化させる取り組みであるBCP物流事業を発足。災害時に物流支援を全国的で円滑に行うため、BCPを専門とする教授陣を構えた「**BCP諮問委員会**」を設置、同業の運送業者仲間と共に、全国の災害物流網である「**AZ-COM BCPネットワーク**」を構築しました。それらを基盤にして、地方自治体や民間企業に対する、全国広域的な災害時の物流支援と備蓄サービスの提供を行い、**サステナブル(持続可能)な輸送インフラの構築**を行います。

# 3. ① - ブリーフィング

- 太陽光パネルシステム
- PCR・抗原検査キット

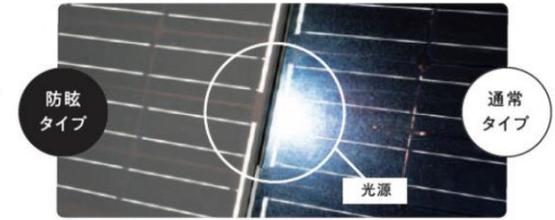
担当 **Kaneka**



瓦一体型太陽電池は「発電する瓦」。  
日本の瓦屋根と街並みに調和する太陽電池です。



「眩しくない」防眩機能  
周辺環境・人にやさしい



## T-Green Multi Solar シースルー

透過型太陽電池



**開口部**

透過性を有した太陽電池であり、ガラス建材と同様に開口部へ使用  
建築物に合わせた仕様・寸法対応が可能



## T-Green Multi Solar ソリッド

高意匠性太陽電池



**外壁部**

高い意匠性を有した太陽電池であり、外装材に合わせ、壁部へ使用  
外装材と同様に建築物に合わせた対応が可能



**迅速** 使いやすさを追求した迅速診断

### PCR 検査キット

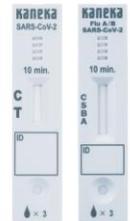
新型コロナウイルスを  
**約1時間**で判定可能



### 抗原検査キット

**判定時間10分**

- (左) 新型コロナウイルス抗原検査キット  
SARS コロウイルス抗原キットカネカ イムノクロマト  
SARS-CoV-2 Ag (体外診断薬)
- (右) インフルエンザウイルスA/B・新型コロナウイルス検出キット  
カネカ イムノクロマト Flu A/B & SARS-CoV-2 Ag  
(体外診断薬)



**国内自社製造**



設計から製造まで**国内の自社工場**で行っております。

### 3. ② - 屋外デモ：クールコンテナ展示

担当  **丸和運輸機関**

#### ① 低温コンテナ体験

避難所の食事の質向上に役立つ冷凍食品の災害食の備蓄

#### ② GPSによるコンテナ管理と備蓄管理の実演

効率的なコンテナ管理と災害時に必要なコンテナを必要なだけ派遣



### 3. ② - 屋外デモ：ジャッキ付多目的コンテナ展示



#### ① コンテナの移動実演

平常時の店舗から災害時の避難所への転換  
担当 事務局

#### ② 太陽光パネルの装備による創電実演

担当 **KANEKA**

#### ③ 店舗利用イメージ（備蓄品）

担当 株式会社 良品計画

#### ④ 段ボールベット体験

担当 **紙器** 梅花堂紙業株式会社

### 3. ② - 屋外デモ：トレーラーハウス展示



#### ① 高い居住性の体験

担当 事務局



#### ② 避難所を想定した空気清浄 (除菌・脱臭) 体験

担当 SUNSTAR

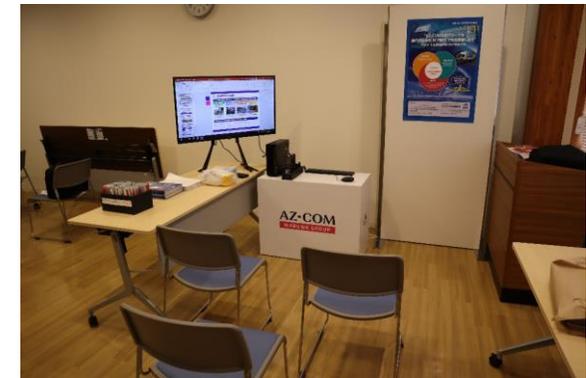
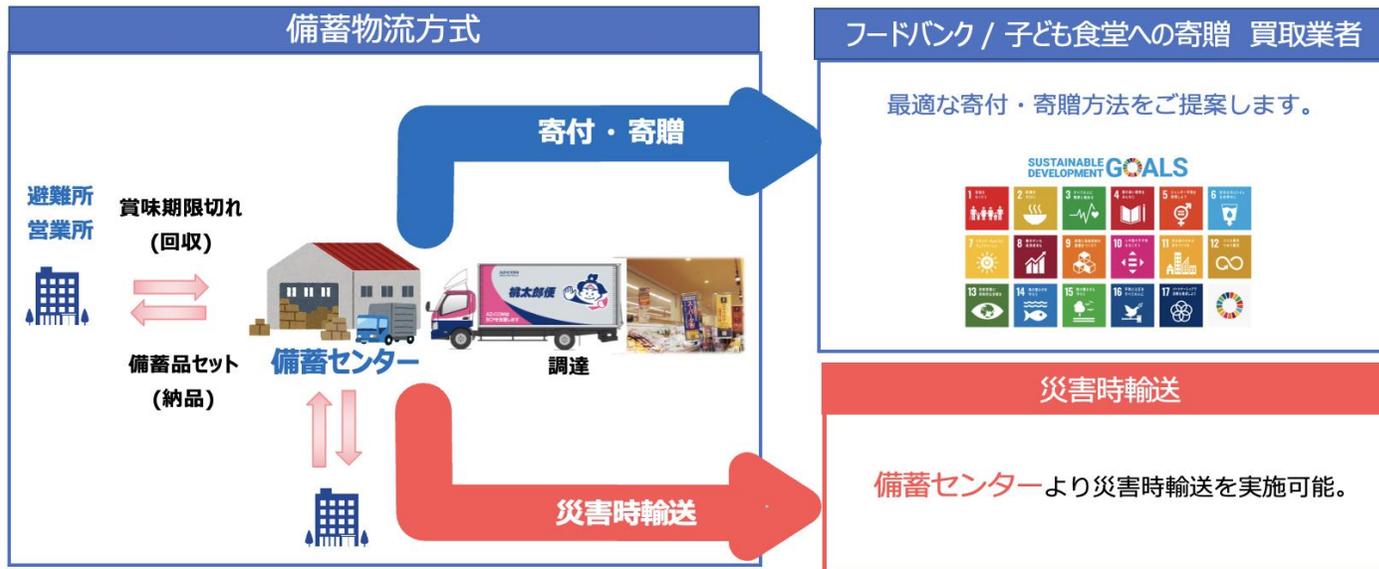
除菌・脱臭機器  
(イメージ)



- ① 備蓄管理作業のトータルソリューションについて
- ② 備蓄管理システムについて

## 備蓄管理作業トータルソリューション・フロー

## システム実演



## ○ 「備えながら暮らす」ためのデータ連携について

### 備えながら暮らすために あらゆるアプリをつなげる



### 家族の機微情報と家庭内備蓄情報を連動 発災時の不便や混乱を低減

防災対策として最低限のサービスだけでなく、災害弱者やアレルギーをお持ちの方など、必要な方に必要なサポートが届けられるよう、個人の意思でデータを必要なサービス間で連携することを促し、これらの解決につながる取り組みについて、体験していただきます。

### 家庭内備蓄の一例展示

家庭内備蓄がうたわれる昨今、どのような商品がどの程度あれば良いのか？災害ナースとして活躍される山中弓子さん監修のご家族3名で3日間過ごすための日常生活でも使える商品について展示紹介いたします。



1968年、兵庫県神戸市生まれ。NPOで親子支援・災害看護支援に従事（阪神淡路大震災、東日本大震災、熊本大分地震、九州北部豪雨災害、西日本豪雨災害などにて避難所運営支援および救護、地域支援、防災公園活動など）



- ① 口腔ケアの必要性について
- ② 避難所の栄養対策について
- ③ 避難所等の空気除菌・脱臭の必要性について

液体歯磨き  
(イメージ)



栄養補給ジュース  
(イメージ)



脱臭・除菌機器  
(イメージ)



## ○ 平時・有事に活躍するマッスルスーツについて



### 3. ④ – 一般利用者アンケート

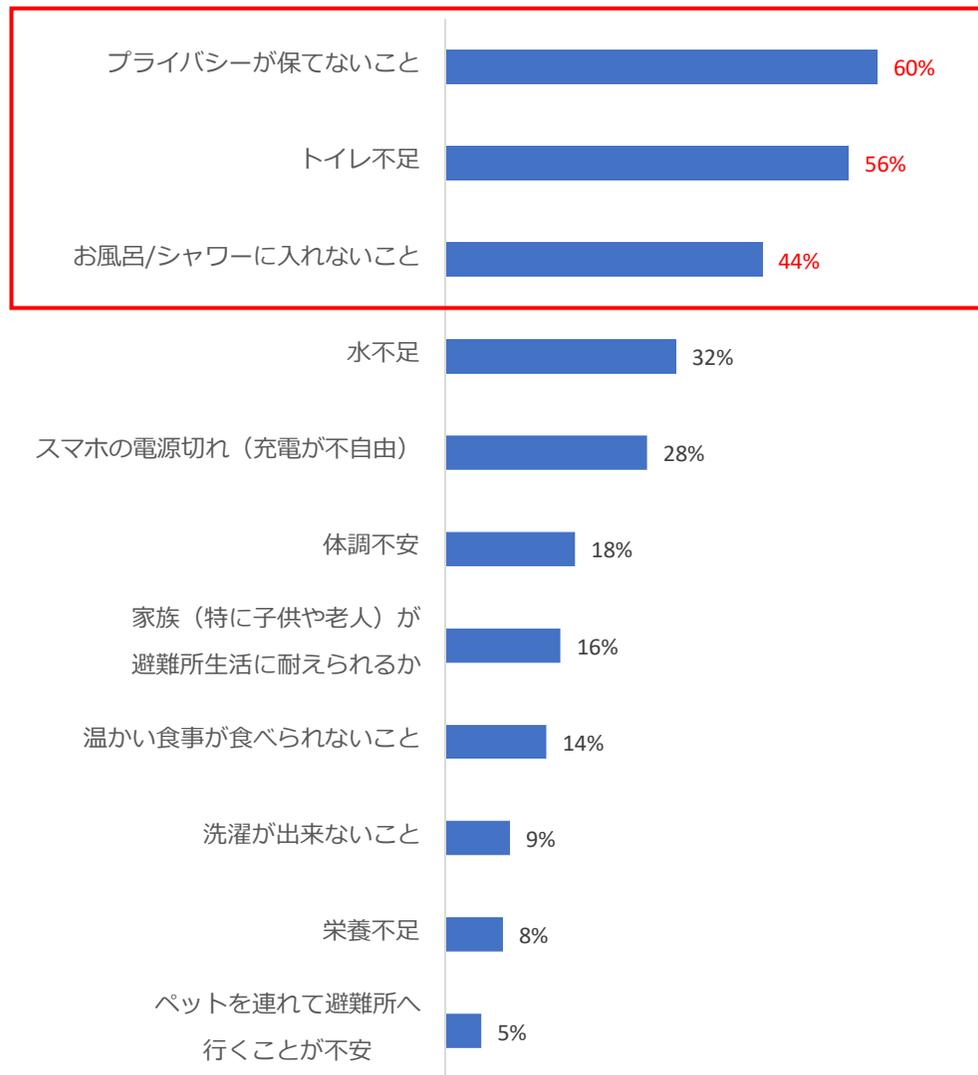
#### 【調査概要】

- ・ 調査方法： Webフォームによるアンケート調査
- ・ 調査期間： 2023年6月3日（土）～6月4日（日）
- ・ 調査対象： 道の駅「猪苗代」の一般利用者
- ・ 回答者数： 100人

#### 【設問】

- Q1. 災害に備えて水や食料を備蓄していますか。
- Q2. 備蓄品の中にハブラシや液体ハミガキを備えてありますか。
- Q3. スマホアプリで備蓄品の管理をしたことがありますか。
- Q4. 展示しているトレーラーハウスのようにプライバシーが確保された避難所であれば、避難所への避難のハードルが下がりますか。
- Q5. 避難所での心配事を3つ（まで）選んで下さい。
- Q6. 被災したときに快適な避難生活を送るための保険があったとして、月にいくらまで支払えますか。
- Q7. 旅行先で災害に見舞われた時の行動や対応に自信がありますか。
- Q8. 道の駅を選ぶ際に重視するポイントを3つ（まで）選んで下さい。
- Q9. 年齢をお聞かせ下さい。
- Q10. お住まいの地域をお聞かせ下さい。

#### <回答例(Q5)>



### 3. 道の駅「猪苗代」における実装デモ：実装デモの参加者

#### 参加人数（案内方式プログラム）：総数 87名

(1) 6月2日（金）：行政機関等関係者 52名

<内訳>

国土交通省道路局	1名
国土交通省東北地方整備局	6名
国土交通省東北地方整備局郡山国道事務所	5名
国土交通省九州地方整備局	1名
防衛省	3名
復興庁	2名
福島県(喜多方建設事務所含む)	4名
群馬県	4名

和歌山県	6名
猪苗代町(福島県:町長、副町長他)	5名
会津若松市(福島県)	2名
石川町(福島県)	2名
海南市(和歌山県)	1名
(一社)日本みち研究所	2名
NPO法人ジャパンハート(会員企業紹介/当日参加)	2名
日揮㈱・㈱東邦銀行(会員企業等)	6名

(2) 6月3日（土）：民間事業者等関係者 22名

<内訳>

議連関係者(上田清司会長代行・同行者)	2名
猪苗代町商工会(地元企業)	1名
猪苗代観光協会(地元企業)	1名
渡部電機工業㈱・渡部産業㈱(地元企業)	3名
パシフィックコンサルタンツ㈱東北支社(仙台市)	3名
㈱安藤・間	1名

日軽金グループ	4名
㈱東日本計算センター	1名
無臭元工業㈱	1名
あいおいニッセイ同和損保㈱・㈱コバヤシ(会員企業)	3名

※以下2名当日コンテナ実演のみ見学

NPO法人東北みち会議(仙台市)	1名
宮崎大学	1名

(3) 6月4日（日）：議連等関係者 13名

<内訳>

議連関係者(古川元久幹事長・古川禎久事務局長・逢坂誠二先生、他1名)	4名
国土交通省道路局	1名
国土交通省東北地方整備局	1名
国土交通省東北地方整備局郡山国道事務所	1名
福島県	2名
猪苗代町(町長・副町長他)	4名



# 3. 道の駅「猪苗代」における実装デモ：議連関係者コメント

## ○上田清司 議員（議連会長代行）

- ・ 埼玉県知事時代に東日本大震災を経験した。県庁職員は定形業務の遂行には高い能力を発揮するが、大規模災害のような事象への対応は苦手である。今回のデモで拝見した民間企業の効率的なサービスをどの様に活用するか良く考える必要がある。

## ○古川元久 議員（議連幹事長）

- ・ 実際の可動式コンテナ等を見て、百聞は一見に如かずであることを再認識した。
- ・ 今日話を伺ったことは、すぐにでも取り組める内容ではないか。
- ・ 国交省だけでなく、あらゆる省庁が関わる活動である。
- ・ 災害はいつ来てもおかしくないが、その時に向けて今日学んだことを活かしたい。

## ○古川禎久 議員（議連事務局長）

- ・ 医療・防災産業という新たな産業領域を作っていこうとする志の元、企業の皆様が活動していることに関して、我々議員連盟も連携して推進していきたい。
- ・ 新しい産業を創生する上で、社会実装からグローバルスタンダードとしての標準・規格化までの段階において、社会実装に向けた各関係者の工夫や研鑽を重ねていることを実感し、確実に実現すると肌で感じられた。

## ○逢坂誠二 議員

- ・ 実際に見ると、パンフレットで見ているのとでは、全然違った。
- ・ 日常生活の中で備えのある暮らしをしていくことや心構えの重要性を痛感した。
- ・ 何十年に一度といわれていることが毎年、毎月のように起こっている（近年の異常な状況を踏まえて、日常生活と災害が背中合わせであることを強く感じられた。



### 3. 道の駅「猪苗代」における実装デモ：一般利用者コメント

- ・ 避難所生活の質の向上の重要性は感じている。実装に関して行政が率先して進めてくれたらうれしい（50代女性）。
- ・ ジャッキ付きコンテナで、フォークリフトがなくても移動できるのはすごいと思う（50代男性）。
- ・ トレーラーハウスがあれば便利だと思うので、実際に使うことを想定した仕様にしてほしい（窓の構造や広さ等）。トイレ・風呂もすばらしい。災害時の活用を想定したつくりだとうれしい（70代男性）。
- ・ クールコンテナがあれば、避難所での食事の選択肢が広がってうれしい（40代男性）。
- ・ 段ボールベッド・簡易トイレは避難所生活であると便利だと思う。収納スペースをあまりとらないのは良いことだし、高齢者でも簡単にセットできるのも良い（60代男性）。
- ・ 3つの種類のコンテナがそれぞれ機能すると、平常時、災害時ともに活用でき安心して生活できると思う。命のコンテナと言っていることにも理解が進んだ（40代女性）。
- ・ 道の駅にコンテナを置くと、駐車に困ると思ったが、可動式であればすばらしい（20代男性）。
- ・ 観光地に持って行き、お店やトイレなどに使うと便利ではないでしょうか（30代女性）。

等々

# 3. 道の駅「猪苗代」における実装デモ：実装デモに関する報道

- (1) 福島民報（6月3日） <https://www.minpo.jp/news/moredetail/20230603107694>
- (2) 福島中央テレビ（6月3日） [https://www.fct.co.jp/news/area\\_news\\_2000](https://www.fct.co.jp/news/area_news_2000)
- (3) 福島放送（6月5日） <https://www.kfb.co.jp/news/fukushima/index.php?id=202306056974>

## 災害時にも対応、高機能コンテナ展示 4日まで道の駅猪苗代 福島県猪苗代町

2023/06/03 09:37



平常時にも災害時にも活用できる高機能・高付加価値コンテナなどの展示会「わたしたちで創る、あたらしい『防災』のかたち」は2日から4日まで、福島県猪苗代町の道の駅猪苗代で開かれている。

東邦銀行など民間22企業で組織する医療・防災産業創生協議会の主催。屋根に太陽光パネルが設置された発電機能付き店舗型コンテナや、冷蔵や冷凍機能付きコンテナ、ベッドや台所などのワンルーム機能のトレーラーハウスを展示している。コンテナ移動や防災アプリ、口腔（こうくう）衛生、感染症検査キットの実演などを行う。



屋根に設置された太陽光パネルで発電できる高付加価値コンテナ

観覧無料。時間は午前10時から午後5時まで。コンテナの移動実演は午前11時、午後2時、同4時に行う。

(1) 福島民報(6月3日)記事 福島民報HPより引用



(2) 福島中央テレビ(6月3日)動画より  
福島中央テレビHPより引用



(3) 福島放送(6月5日)動画より  
福島放送HPより引用

## 4. 地域防災力強化プロジェクト：浅草救急防災協会での勉強会

○浅草救急防災協会※(小林会長((株)コバヤシ・社長))のご協力を得て、官民連携の観点から地域防災力向上の取組開始に向けた勉強会を2023年3月9日に実施。※浅草消防署管内の民間業者等で構成

### 〈第1回勉強会の概要〉

- ・小林会長：この勉強会を**地域の共助**につなげたい。
  - ・近藤係長(台東区)：浅草寺周辺での「第11回帰宅困難者及び外国人観光客対応訓練」(約900名参加)を報告。
  - ・今井(日本総研)：官民連携の帰宅困難者対策の考え方、道路と防災、日本総研ができること等を案内。
- フリーディスカッション
- ・藤田氏：観光地浅草と浅草橋は地域性が全然違う。帰宅困難者対策は会社が多い浅草橋エリアを対象にやると良いと思う。
  - ・春宮氏：勤め人は街の構造を知らない。町会長が誰か把握することなどを通じて町会への関心が高まれば、**企業と地域(町会)の連携がスムーズ**になると思う。
  - ・鈴木氏：地域の小規模・零細事業者は災害時の対応を決めていないところが多いのでは。
  - ・小林会長：帰宅困難者もエリアによって属性が変わるので、勤め人など特定層にターゲットを絞ってはどうか。
  - ・榎田補佐(浅草消防署)：幹線道路は緊急車両の導線として重要。**道路管理者からのアプローチ**に関心がある。
  - ・今井(日本総研)：定期的な目に見える形の防災訓練実施は、活動の継続や認知度向上等の面で有効と思う。



### [浅草救急防災協会]

- ・小林会長 ((株)コバヤシ社長)
  - ・春宮顧問 ((株)春宮代表、連合町会長)
  - ・藤田顧問 (藤田建装会長、浅草寺総代)
  - ・鈴木会計監事 (ホテルベルモント社長)
  - ・中村氏 ((株)コバヤシ・総合企画室)
- [オブザーバー]
- ・近藤係長 (台東区危機・災害対策課)
  - ・今井 (日本総研)
  - ・前 (日本総研)
- [事務局]
- ・榎田補佐 (浅草消防署警防課)
  - ・富澤係長 (浅草消防署総務課)

# 4. 地域防災力強化プロジェクト：アンケート調査（抜粋）

## 【調査概要】

調査対象：浅草救急防災協会会員71社(者)

調査期間：2023年4月25日～2023年5月12日

調査方法：郵送

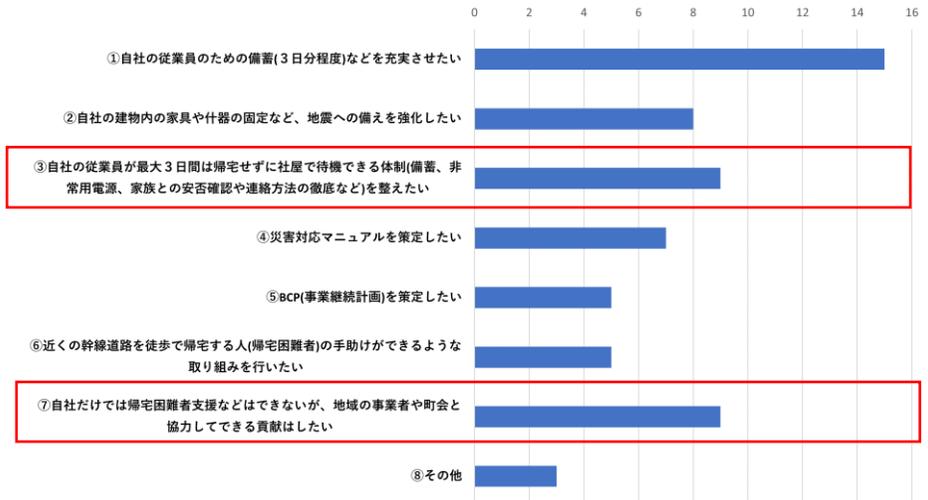
回収方法：FAXまたはEメール

回収数：27件（5/12時点）

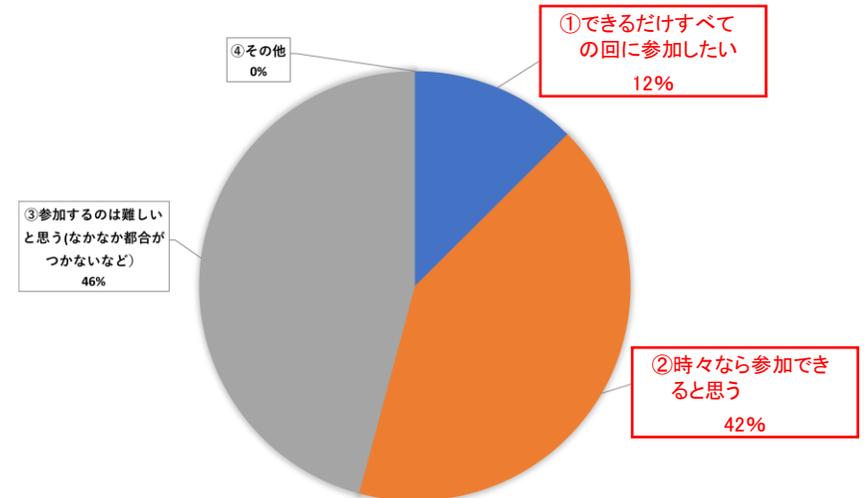
## 【設問】

- ① 貴社(浅草エリアに所在している事業所)では、現在、大地震等の大規模災害に備えてどのような取り組みをしていますか？
- ② 貴社(事業所)では、大地震等が起こった際の帰宅困難者(徒歩で帰宅する人)対策について、現在、どのようなことができると思いますか？
- ③ 貴社では、今後の大地震等の大規模災害に備えて、どのような取り組みを行っていきたいと思いますか？
- ④ 浅草救急防災協会では、今後、月に1回程度、「帰宅困難者対策に関する勉強会」を開催予定です。この勉強会にご参加いただけますか？

## <回答例(設問③)>



## <回答例(設問④)>



# 4. 地域防災力強化プロジェクト：今後の実践的展開に向けて

○浅草消防署・台東区役所等の協力も得ながら、**浅草エリアの民間事業者、住民(町会)の各団体等民主導により「連絡会」等を設立**し、本活動の発展的な継続(例:「徒歩帰宅者対策訓練」の定期的な実施等の実践的活動につなげる取組)を予定(国(道路管理者)、都などの支援を想定)。

## ●「下町モデル」展開イメージ

第1回勉強会 (3/9)

第2回

第3回

連絡会設立 (秋頃)

勉強会(中心メンバー形成)

実践的展開に向けた積み重ね

(仮)浅草地域  
ぼうさい連絡会

- 〈メンバー(参加団体等)〉
- ・事業者(防災協会会員ほか)
  - ・住民(町会、マンション等)
  - ・行政(台東区・消防、警察等)
  - ・サポーター(国、専門家等)

「防災だより」  
勉強会報告等  
情報発信

参加の拡がり

参加

「防災だより」

参加

「防災だより」

参加

帰宅困難者対策訓練

双方向  
情報共有

事業者、町会、マンション管理組合等、地域関係者との連携強化

アンケート  
防災協会会員  
意識・意向

浅草救急防災協会会員

浅草エリアの住民・事業者等(町会等)、地域全体に徐々に拡げていく

